

女性職員へインタビュー



●造幣局を志望した理由は何ですか？

普段、当たり前のように使用している貨幣ですが、当たり前に行うことができるのは日本国という信用があるから。そんな貨幣を独占的に製造し、公的機関でありながら民間の手法を取り入れてマネジメントしている造幣局に興味を持ちました。

また、国の機関としては珍しく大阪に本局を構え、実家からも遠くなく、ワーク・ライフ・バランスが実現できそうな職場だと思い、志望しました。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

入局当初は、経営企画課に配属され、造幣局全体のお金の流れを学びました。その後、財務省へ出向し、予算関連法案の審査や法案作成業務に携わりました。また、さいたま支局在籍中は、支局主催の広報イベントの企画立案、取材対応、博物館の展示の充実等に取り組みました。

現在は再び経営企画課に配属され、経営データを収集・分析しつつ、造幣局の課題解決のためのプロジェクトにも参加しています。専門的な知識がまだまだ不足しているので、日々勉強です。

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

入局するまで特段のイメージは持っていませんでしたが、入局後、桜の通り抜けや各種式典、見学者が大勢訪れる博物館を通じて、地域から愛され、必要とされている機関であると実感しました。明治4年の開設以来続く伝統を誇りに感じ、仕事をされている職員が多くいる職場だと思います。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

夫の仕事の都合で、結婚を機に、さいたま支局に転勤させていただきました。また、出産の際には産休・育休を取得しました。男性の多い職場ですが、家庭に貢献している男性職員も多く、理解を得やすい環境だと思います。現在は、周囲のサポートもあり、効率を重視しながら日々の仕事と家事・育児等をこなしています。



総務部 経営企画課 専門官
平成18年採用 総合職(法律)

Message 学生のみなさんへ

自分の意思をしっかり持って発信できる人は必ず活躍できる職場です。学生時代は、よく学び、よく遊び、いろいろな経験をして、今しかない自分だけの時間を有効に使ってください。皆さんとともに働けることを楽しみにしております。

●造幣局を志望した理由は何ですか？

大学では理学部生命科学科に在籍し、金属とは関係のない専攻でしたが、「モノづくり」に携わる仕事に興味があり、いろんな官公庁を調べる中で造幣局に出会いました。そして造幣局の最新の偽造防止技術を駆使した貨幣の製造に魅力を感じ、造幣局を志望しました。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

入局当初は広島支局貨幣第二課の成形係、その次は貨幣第一課、現在は本局試験鑑定課で勤務しています。貨幣第一課では金属の塊を所定の厚さまで延ばす「圧延」、貨幣第二課の成形係では圧延板を貨幣の形に打ち抜き、縁をつける「成形」という作業をしています。

私は作業に必要な物品の購入や、設備の点検・修理の手配、貨幣を計画的に製造するための作業計画の作成を行っていました。試験鑑定課では貨幣の材料及び貴金属等の品位分析作業や貨幣の真偽鑑定作業を行っています。私は同様の事務のほか、分析作業や鑑定作業の手伝い等もを行っています。



研究所 試験鑑定課 係員
平成26年採用 一般職（化学）

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

入局前は、説明会の時も含め男性ばかりで女性が少なく、男性中心の組織なのかと思っていました。しかし入局後は、近年女性職員の採用に力を入れていることや、局内や労働組合のイベント等で他部署の方と関わる機会もあり、様々な場所で女性が働いているイメージに変わりました。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

事務の仕事は男女関係なく同じ仕事を行い、やりがいのある職場です。私の希望もあり、溶解課と貨幣第一課のみで行われている二交代制勤務を女性で初めて担当させてもらうなど、「女性だから」といった理由で仕事を制限されることはないので、意欲を持って働ける職場だと感じております。

Message 学生のみなさんへ

専門の分野に限らず、「モノづくり」に興味がある方は一度造幣局を見に来てください。4月の桜の通り抜けや博物館見学などは、説明会や官庁訪問とは異なる形で造幣局を見て知ることができます。



事業部 海外販売室 係員
平成31年採用 一般職（行政）

●造幣局を志望した理由は何ですか？

純正画一な貨幣の供給という独自の形で、国民生活の基盤を支えている点に惹かれました。また、私が大学時代に専攻していた英語を活かせる部署があり、その部署で活躍されている職員の方のお話を業務説明会で聞き、刺激を受けたのも大きなきっかけとなりました。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

入局時より造幣局製品の海外販売を担当しています。海外のコインディーラーに造幣局の記念貨幣セットや金属工芸品を紹介し、受注契約を取りまとめ、製品を発送するまでの一連の業務を担っています。また、年に数回、海外の貨幣イベントに赴き、現地でコインディーラーとの商談や新販路開拓のための情報収集を行っています。

2020年にドイツで開催されたワールド・マネーフェアでは、日本の造幣局が主賓を務め、日本の記念貨幣や勲章見本の展示を行い、また他国の造幣局関係者と交流するなど、多くの貴重な経験をすることができました。

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

明治4年創業という長い歴史や国家公務員という身分から、真面目で堅実な方が多い印象でしたが、実際は穏やかで優しい職員の方が多く、他部署の方でも気さくに声をかけてくださいます。しかし、貨幣の安定供給という国内唯一の使命を胸に、職員の方が真摯に職務に臨んでいるという印象は今も変わりません。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

出産・育児に関する制度が充実しており、また1時間単位の有給休暇が取得できるため、育児の状況に合わせて柔軟な働き方ができます。これらの制度を活用し、仕事と家庭を両立させて働く先輩職員が身近にすることで、自らのライフプランを安心して思い描くことができ、仕事をする上でのモチベーションとなっています。

Message 学生のみなさんへ

少しでも造幣局に興味を持ち、このパンフレットを開いてくださったのであれば、ぜひ業務説明会等に足を運んでいただき、職員の方の生の声を聞いてほしいと思います。桜の通り抜けが開催される頃、皆さんと一緒に働くことを楽しみにしております。



広島支局 貨幣第一課 係員
令和2年採用 総合職（工学）

● 造幣局を志望した理由

自分の専門分野にこだわらず、なおかつ公共性の高い仕事に就きたいと考え、就職活動をしていました。その中で、国家公務員という立場でありながら製造や販売を行っていること、そして何より貨幣という誰もが手にする製品の製造に携われることに大きな魅力を感じ、志望しました。また、官庁では珍しく地元である大阪に本局があることにも魅力を感じました。

● 現在の業務内容

私が所属する貨幣第一課では、鑄塊という棒状の金属を貨幣の厚さになるまで薄く延ばす「圧延」という作業を行っています。二交代制勤務の部署であり、早番・遅番勤務が1週間ごとに入れ替わります。私は現在、圧延工程の作業計画の管理や機械設備の修理修繕に係る事務業務等を行っています。機械設備にトラブルが発生することもあります。その場合でも決められた製造量を製出するために、臨機応変に対応する必要があります。

● 職場の雰囲気など

皆さん気さくに話しかけてくださり、居心地の良い職場です。業務に対して緊張感をもって真摯に向き合っており、良い刺激となっています。また、わからないことがあれば適宜指導やアドバイスをいただけるので、大きな不安なく業務に取り組むことができます。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

業務を行う上で必要な知識や技術は多岐にわたるため、分からないことも多いですが、一つずつ確実にこなしていき、早く一人前になりたいと考えています。そして様々な業務に携わる中で、自らの専門性を高め、必要とされる人材になりたいです。

● リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方

家で映画やアーティストのライブ映像を観てゆっくりと過ごすことが多いですが、遅番勤務の週は平日の午前中に出かけられるので、買い物や食事をしに外出することもよくあります。また、最近局内のテニスサークルに初心者ながら加入したので、まずはラリーが続けられるように練習しています。

Message 学生のみなさんへ

造幣局は公務員でありながら「モノづくり」を行っている珍しい機関です。貨幣製造業務をはじめとして他では中々経験できない仕事がたくさんあります。造幣局に少しでも興味があれば、是非一度業務説明会などの機会を通じて、業務内容や雰囲気を知ってもらいたいです。



Message 学生のみなさんへ

様々な企業や官庁の説明会に足を運んで、自分の肌で雰囲気を感知するのがいいと思います。同じ情報であっても、働いている方から直接聞くと印象が大きく変わることがあります。造幣局のこともパンフレットだけでなく、業務説明会や工場見学にお越しいただき、候補のひとつにしていただければ幸いです。

● 造幣局を志望した理由

国家公務員でありながら貨幣の製造や販売を行っている点に興味を持ち、様々な業務に取り組める可能性の広さに魅力を感じ志望しました。業務説明会で感じた落ち着いた雰囲気が良かったことも志望理由の一つです。

● 現在の業務内容

私は契約・保有資産監理官付で、資産を管理する管財業務を担当しています。造幣局にある機械装置の管理業務や、建物の修繕の記録を残す業務を主に行っています。新たな資産を取得した際には、資産の耐用年数や範囲等に注意する必要があるため、過去の資料も参考にしながら業務に取り組んでいます。自分が作成した資料が参考にされる日のことを考え、日頃から丁寧な資料作成を心がけています。

総務部 契約・保有資産監理官付 係員
令和2年採用 一般職（行政）



● 職場の雰囲気など

わからないことがあればすぐに相談できる雰囲気、風通しが良い職場だと感じています。また、業務の面以外にも体調や休暇取得などに気を配っていただくことが多く、安心して業務に取り組むことができます。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

様々な業務に触れ、包括的に知識を深めていくことで、自分のできる仕事を増やしていきたいと思っています。そうした中で自分の軸となる専門分野を確立し、造幣局に貢献できる職員を目指していきたいです。

● リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方

家でゆっくりすることが好きなので、終業後は読書やラジオ鑑賞をして過ごすことが多いです。休日は、好きなアーティストのライブ映像を見たり、実際に足を運んだりしてリフレッシュすることもあります。

●造幣局を志望した理由

学生時代のベトナム留学をきっかけに、日本の貨幣の技術力の高さに気づき、貨幣製造を行っている造幣局に興味を持ちました。また、説明会を通して、造幣局では貨幣の製造のみならず、勲章・褒章の製造、品位証明など幅広い業務が行われていることを知り、魅力を感じたため志望しました。

●現在の業務内容

私は広報官付に所属し、主に工場見学の受け入れ対応や造幣局ホームページの更新業務を担当しています。ホームページに関しては、造幣局の情報を発信する場であり、多くの方が目にするものなので、より見やすいページ構成にするための工夫を心掛けています。また、文言や掲載データのミスが無いように上司と複数確認を徹底し、毎回緊張感をもって作業を行っています。

●職場の雰囲気など

親切な方が多く、雰囲気の良い職場だと思います。入局1年目で様々な不安がありましたが、分からないことがあれば、どんな小さなことでも丁寧に教えていただけるので、とても働きやすいと感じています。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

造幣局の技術力の高さや業務内容について、より多くの方々に知っていただくことが目標です。現在、広報官に所属しているので、ホームページやSNS、イベント等を通じて造幣局の魅力をしっかりと伝えられるような職員になりたいと思っています。

●リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方

平日は家でゆっくり過ごしたり、友人と食事に出かけたりしています。週末は車で近所のカフェに行くこともあれば、有給休暇を土日とつなげて取得し、少し遠くへ遊びに行くこともあります。



総務部 広報官付 係員
令和2年採用 一般職（行政）



職員ヘインタビュー

Message 学生のみなさんへ

造幣局に興味がある方はぜひ業務説明会に参加し、実際に職員の方の話を聞いて自分が造幣局で働く姿を具体的にイメージしていただければと思います。また、工場や博物館の見学にもお越しいただき、造幣局の雰囲気を肌で感じていただければと思います。皆さんと共に造幣局で働けることを楽しみにしています。

Message 学生のみなさんへ

恐らくこの先の人生40年が決まる大きな分岐点が目にあると思います。造幣局をはじめ様々な官庁の説明会に足を運び、自らの強い意志を持って就職活動に励んでください。学生時代に培われてきた知識と経験は、どの官庁でも生かせると思います。

●造幣局を志望した理由

高校卒業後の進路として就職か進学で悩んだ時、大学に進学してから就職するよりは、4年早く就職して働き経験を積む方が成長できると思い、就職しようと思いました。その際に一番人の役に立てる仕事は何かと考えた時、見出した答えが国家公務員であり、その中でも工業系で活躍できる仕事は造幣局であると考え、志望しました。

●現在の業務内容

貨幣部施設課は、造幣局内の機械のメンテナンスや改修、検査等を行っています。私は主に積算業務や仕様書作成、外部の企業と使用者で導入する機械の打ち合わせ等を行っています。新しく導入する機材の体験などに参加することもあります。座って行う仕事が多いですが、適宜息抜きしながら仕事をしています。

●職場の雰囲気など

心地よいという言葉がぴったりな職場です。周りの人も優しく明るく仕事を教えてくれますし、働きやすい雰囲気の中で仕事ができます。またワーク・ライフ・バランスを保ちやすい職場ですので、無理せず自然体で働くことができます。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

まずは仕事を覚えて迅速に行動できるようにすることが目標です。外部の方とのやりとりも多い部署ですので、職員としての自覚を持ち責任感を持って仕事をしていきたいです。最終的には、先輩と同等の仕事量をこなせるように頑張りたいと思います。

●リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方

家でフィットネスゲームや、最近ではVRをやることが多いです。有給休暇がとりやすいので、家庭用ゲームにすっかりはまってしまいました。自宅からの通勤で片道1時間以上を要しても、18時前に帰宅できるのも影響していると思います。



貨幣部 施設課 係員
令和2年採用 一般職（技術近畿）

若手職員の1日



総務部経理課係員
平成30年採用
一般職(行政)

○職務紹介
経理課では、財務諸表の作成、契約締結業務、現預金の管理、給与や税金等の支払いなど、幅広い業務を行っています。



事業部製品開発室係員
令和2年採用
一般職(行政)

○職務紹介
製品開発室では、造幣局が販売する貨幣セットや金属工芸品の企画・開発に関して、テーマ選定から外部機関との交渉など幅広い業務を行っています。

9:00 デスクワーク

出勤後は銀行口座の入出金を確認し、各事業の収入に係る入金があれば、関係部署に入金連絡を行います。一つずつ内容を確認し、伝票を登録します。



9:40 金融機関への支払い

通常の支払い手続きとは異なる案件対応のため、金融機関に赴きます。所定の時間までに支払手続きを行う必要があります。前日までの準備が欠かせません。



11:00 銀行口座の開設

この日は銀行口座の開設手続きを行いました。手続き内容や提出書類について、銀行と事前に打ち合わせを行っていたので、滞りなく進めることができました。

12:00 昼休み

お昼は、持参したお弁当をデスクで食べています。昼食後は、午後からの仕事に向けてリフレッシュしています。

13:00 外国送金

他課から依頼された外国送金の処理を行います。送金先の情報や金額等に誤りがないか細かくチェックし、指定された通貨で送金します。

14:00 給与支給

この日は給与支給の手続きを行いました。支払いに必要な書類を作成し、振込処理を行います。同時に、給与天引きした税金などの支払いも行います。



17:30 退庁 (アフターファイブ)

平日は家に帰ってのんびり過ごすことが多いですが、週末は同期や友人と食事に出かけることもあります。

9:00 出勤、デスクワーク

出勤後は、メールを確認し、1日のスケジュールを立て、スムーズに業務に取り掛かれるように準備をします。提出資料などもこの時間に作成します。



10:00 製品見本の確認

製品見本の色合いや文字が、デザインと相違ないか校正チェックを行います。製品化前の最後の確認となるため、気の抜けない作業です。



11:00 会議への出席

製品開発室は、決められた販売計画に基づいて業務に取り組みます。作業の進捗状況把握のために会議へ出席し、製品の製造スケジュールを確認・調整します。

12:00 昼休み

デスクでお弁当を食べながら、趣味の話などで盛り上がりとてもリフレッシュになります。

13:00 製品企画

民間企業等に訪問し、製品化の企画・提案を行うため、事前の準備が欠かせません。主に企画書等の書類作成や見本品の準備、情報収集を行います。

15:00 新製品に関する打ち合わせ

他部署と新製品のデザインについて打ち合わせを行います。販売対象や製品特徴を考慮しつつ、デザインの方向性や製品の仕様について入念に話し合うことで、より良い製品を目指します。



17:30 退庁 (アフターファイブ)

この日はまっすぐ家に帰って、夜ご飯を食べながら友人とテレビ電話をして楽しみました。



事業部装金課係員
平成30年採用
一般職(化学)

○職務紹介
装金課では、勲章や桜の通り抜け記念メダル等の金属工芸品の製造を行っております。



広島支局貨幣第一課係員
平成28年採用
一般職(電気・電子・情報)

○職務紹介
貨幣第一課では、5つの工程でライン作業を構成しており、金属の塊(鑄塊)を貨幣の厚みまで薄く延ばした圧延板を製造しています。

8:00 出勤、朝礼

現場及び事務所での朝礼から仕事が始まります。納期が近い製品の進捗確認や製造工程で発生している問題有無の報告等、情報共有を行います。



9:30 決裁文書、報告書の作成

資材調達や機械の購入等に関する決裁文書の作成を行います。また、装金課の作業進捗や発生した不良品数を取りまとめた報告書の作成も行います。



11:00 検品作業

繁忙期には仕掛品や資材の検品作業を手伝います。キズや汚れがある場合には、前工程から再度作業を行い、合格してから次工程に送付します。



12:00 昼休み

局が職員向けに手配してくれるお弁当を注文し、自席で食べています。栄養バランスが良く、一人暮らしの身としてはありがたいです。

13:00 業者との打ち合わせ

金属工芸品に使用するケース等の資材調達に関して、業者との打ち合わせを行います。納期や仕様等、認識に相違ないか確認します。

15:00 たな卸業務

システム上の在庫数量と実際の在庫数量が一致するか、確認作業を行います。装金課では多種の物品を保有しているため、日々の数量管理が重要です。



16:30 退庁(アフターファイブ)

週に1日は定時退庁日が設けられておりますので、家事や趣味に時間を使うことができます。

7:30 出勤、朝礼

貨幣第一課は二交替制勤務の職場で、早番の週は7時30分始業です。前日遅番からの引継ぎを受けた後に作業担当者と朝礼を行い、その日の作業予定について情報を共有します。

9:00 鑄塊積み降ろし作業

今後作業に使用する鑄塊について積み込み作業を業者に依頼します。業者へ鑄塊の場所を指示し、関係装置の設定変更等を行います。



11:00 デスクワーク、現場確認

製造設備の修理・保守点検の仕様書作成や、作業で使用する消耗品の購入手続きなどを行います。修理対象の設備については、工場の担当者に詳細を確認します。



12:00 昼休み

食堂で昼食をとります。職場の方々と世間話をしながら休息しています。

13:00 納品物の確認、検査

製造に必要な部品等の納品があった際は、発注仕様と相違がないか入念に確認を行います。納品前に製造工場等に赴き、立会い検査を行うこともあります。



14:00 産業廃棄物収集の立会い

製造過程で発生する産業廃棄物を、収集運搬業者に依頼し工場外に排出します。貨幣第一課では特に廃油の排出量が多く、貯蔵槽の廃油量を日々管理しています。



15:15 引継ミーティング

15時15分から出勤の遅番担当者に、早番で行った作業や連絡事項について引継ぎを行います。

15:45 退庁(アフターファイブ)

早番の週は15時45分に退庁します。平日でも比較的早い時間帯に銀行や買い物に行けるため助かります。